

ヘルスケアキャンペーン2019

企業の発展支える健康経営

従業員の健康に配慮することで企業活力を高め、優秀な人材の獲得や組織の活性化、生産性や企業価値の向上につなげる。こうした考え方をベースとした「健康経営」が、多様なライフスタイルに合わせた柔軟な働き方とともに、今後の企業の発展を支える経営スタイルとして広がりつつある。



影響大きい職場環境

職場の環境や過ごし方は、従業員の生活習慣に大きな影響を与える。屋外の労働現場では塩分や油分が多い昼食、長時間のデスクワークや定時に食事を取りにくい職場では簡単に済ませることができる高カロリーの昼食が好まれる場合がある。こうした食事でメタボリック症候群が進行する可能性もある。体調不良の社員が多ければ、生産効率が落ちるだけでなく、企業にとってはトラブルのリスクを抱えることにもなりかねない。

従業員の健康は、職場環境や働き方に左右されるため、企業の姿勢や取り組み方次第で向上させられる。

必要不可欠な戦略

高齢化が進み、労働力人口が減少する中、健康経営が必要不可欠な経営戦略となる時代はそこまできている。

健康経営に取り組む企業などを顕彰する

ため、2017年に健康経営優良法人認定制度がスタートした。今年は大規模法人部門821法人、中小規模法人部門2503法人が認定され、健康経営が企業価値を高めるシステムとして認知されつつあることがうかがえる。

業界により温度差はあるものの、例えば働き方改革や人材不足が懸念される運送業界で取り入れる企業が急増。また、製造業界では主要スタッフの病欠を機に健康経営を導入した企業もある。

サポート制度も

健康経営の出発点は従業員の健康状況を把握すること。そして健康診断結果の分析などを通して、必要な健康施策を見つけ出す。全国健康保険協会(協会けんぽ)群馬支部に加入する企業が利用できる「生き活き健康事業所宣言」は、健康経営をサポートしてくれる制度だ。企業の規模によるが、エントリーすれば健康診断結果を県平均や同業他社と比較して、肥満や高血圧、喫煙者の割合などをま

とめた「事業所カルテ」を利用できる。カルテによって課題が明確になり、対策を立てやすくなるのが特徴で、県内443事業所(今年11月7日現在)がエントリーしている。

イベントのご案内

ヘルスケアセミナー

講演 「行動経済学とナッジ理論の保健事業への応用」について

講師 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治 先生

日時：11月19日(火)10時～12時15分
会場：群馬県庁28階 281AB会議室

主催：群馬県
共催：全国健康保険協会群馬支部、上毛新聞社
問合せ：群馬県保健予防課 健康増進・食育推進係
電話：027-226-2427 FAX：027-223-7950
Email：shokuiku@pref.gunma.lg.jp

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

主催 上毛新聞社 共催 群馬県、全国健康保険協会 群馬支部 後援 群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、群馬県中小企業団体中央会、群馬県医師会

協賛

群馬県民共済

群馬トヨペット

人も地球も健康に Yakult 群馬ヤクルト販売(株)

GB 群馬バス

Kashidaka 株式会社 コシダカホールディングス

TAIYO YUDEN

Orchestrating a brighter world NEC

PHC PHC株式会社

(順不同)



※上毛新聞HP内「ヘルスケアキャンペーンページ」(www.jomo-news.co.jp/ad/healthcare/)で、これまでの啓発紙面等、キャンペーン内容をご覧ください。